



平成22年8月10日

各位

上場会社名 大日本スクリーン製造株式会社
 代表者 代表取締役社長 橋本 正博
 (コード番号 7735)
 問合せ先責任者 経理部長 太田 祐史
 (TEL 075-414-7155)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	105,000	5,000	4,500	4,000	16.85
今回発表予想(B)	114,000	8,500	8,000	6,700	28.22
増減額(B-A)	9,000	3,500	3,500	2,700	
増減率(%)	8.6	70.0	77.8	67.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	67,398	△15,727	△17,633	△12,845	△54.11

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	214,000	11,000	10,000	9,000	37.91
今回発表予想(B)	260,000	19,500	18,500	16,500	69.50
増減額(B-A)	46,000	8,500	8,500	7,500	
増減率(%)	21.5	77.3	85.0	83.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	164,128	△14,046	△17,258	△8,002	△33.71

修正の理由

今後の経済環境は、欧米において景気下振れ懸念が残るものの、中国を中心としたアジア地域の内需拡大などを背景に、緩やかながら回復基調が続くものと予想されます。

当社を取り巻く事業環境では、半導体およびFPD業界において、パソコンやスマートフォン、液晶テレビなど最終製品の需要増加を受け、各メーカーの設備投資は引き続き堅調に推移するものと見込まれます。一方、円高傾向で推移する為替や製品販売価格の下落など、採算面では厳しい局面が続くものと予想しています。

このような環境のもと、平成23年3月期の業績予想につきましては、主に半導体機器事業の売上・利益が前回予想を上回ると見込まれることから、上記のとおり第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたします。

(注)上記業績予想の前提となる当期の為替レートは1米ドル＝85円、1ユーロ＝110円を想定しております。なお、業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上